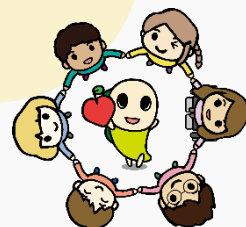


子どもの権利について学びました！



小学 4 年生～
高校 2 年生が
参加しました！



開催日

令和 8 年

7 月 19 日(日)、25 日(土)



参加人数

19 日 : 22 人

25 日 : 12 人 合計 34 人



テーマ

子どもの権利と
区が行っている普及啓発を学ぶ

※第 1 回は、台風の影響により延期のうえ、希望に応じて 2 日に分けて実施しました。

内容

- 「子どもの権利」とは何かを学んだ後に、
自分の生活と「子どもの権利」のつながりについて考えました。
- 杉並区が子どもの権利をいろいろな人に知ってもらうために
どんなことをしているか、クイズやグループワークを通じて学びました。



当日の流れ

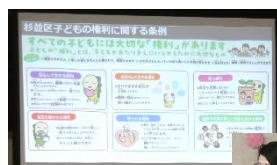
1 自己紹介・アイスブレイク



会場内を歩きまわって、
交流！

「自己紹介カード」や
「自分の好きなことを書いた
カード」を使って参加者同士
で交流しました。

2 子どもの権利について学ぶ



「権利」
＝生まれた時から
平等に持っている物
たにこ

子どもの権利救済委員の「た
にこ(谷川)さん」から、子ど
もの権利をクイズ形式で学び
ました。

3 グループワーク 「身近な権利を考えよう」



いいな！
と思ったこと

嫌だな・・・
と思ったこと

「家」「学校」「自分」「その他」の
4 つのテーマで、最近「いい
な」「嫌だな」と思ったこと
をふせんに書いて、グループ
で共有しました。

4 杉並区の実践を知る



子どもの権利に関する条例に
定めた取組など、杉並区が
行っている取組について学び
ました。



子どもたちから出た意見は次のページで紹介！

③グループワーク「身近な権利を考えよう」

どんな意見が出たの？

「家」「学校」「自分」「その他」の4つのテーマについて、最近あった「いいな」と思ったことや「嫌だな」と思ったことを付箋に書いて出し合いました。



家のこと

😊 いいな！

- 家族みんなやさしい
- 家族旅行が楽しみ
- お弁当やごはんがおいしい

😞 嫌だな...

- 兄弟で比べられる...
- 朝はもっと寝てたい
- 話が通じないと感じることがある



学校のこと

😊 いいな！

- 友だちに会える
- 音楽の授業が楽しい
- テストで100点をとれた

😞 嫌だな...

- 宿題が多すぎる
- 授業中うるさい
- 給食時間がもっとほしい



自分のこと

😊 いいな！

- 好きなことに夢中になれる
- 友だちと遊ぶのが楽しい
- 「声がきれいだね」と言われた！

😞 嫌だな...

- 勉強が難しい
- 人との関係で悩むことがある
- 進路が決まらなくて不安



その他

😊 いいな！

- 図書館がある
- 地域のイベントが楽しい
- 公園で遊ぶのが好き

😞 嫌だな...

- ボール遊びできる場所が少ない
- 涼しく過ごせる場所が欲しい
- 勉強できる場所がもっと欲しい



こんな声もありました



ゲームで建築が少し上手になった

街路樹を切らないでほしい

吹奏楽でどうしてもジャズを吹きたい

秘密基地ができてほしい



みんなの24時間は、

「権利」(＝安心安全に生きるために大切にされるために、生まれた時から平等に持っているもの)の連続ということを学んだよ。

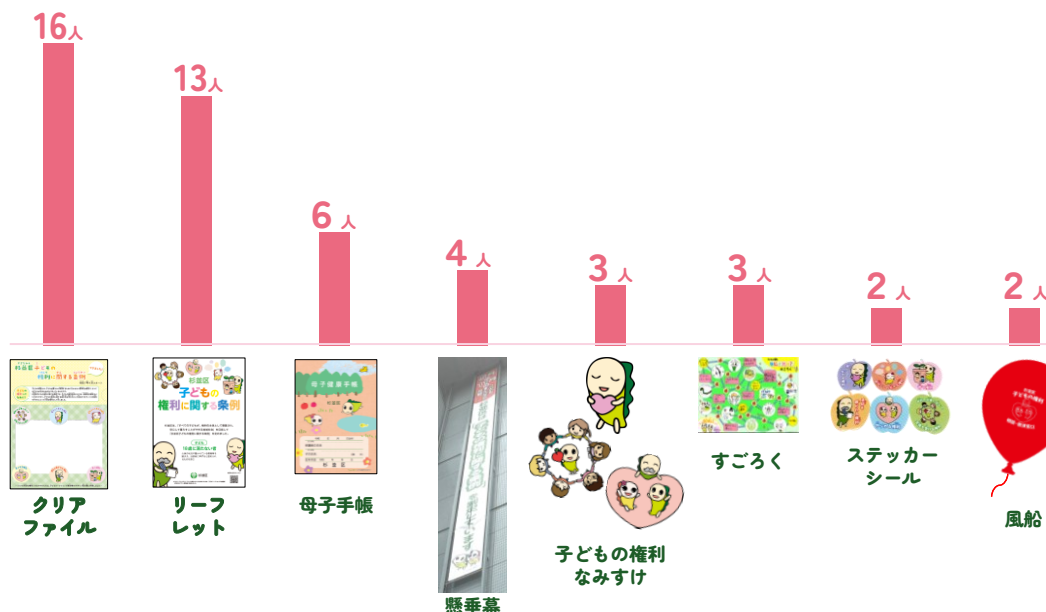
④ 杉並区の実践を知る

ワークショップ参加者に聞いてみました！

子どもの権利を広めるためのグッズや方法をどのくらい知ってる？

(複数回答含)

「子どもの権利グッズ」を知っていた人数



「どんな方法」で子どもの権利を広めているか知っていた人数

区内児童・生徒・先生にリーフレットを配布したこと 14人

すぎなみフェスタなど人の集まるイベントに出展したこと 4人

母子健康手帳や保護者向けの利用案内に子どもの権利の情報をのせたこと 3人

先生や保護者に講義や研修を実施したこと 1人



杉並区の考え

区内の学校でリーフレットを配ったことを知っていた方が多かったのよかった。

ただ、杉並区外の学校に通っている人は知らなかったり、子どもの権利を広めるグッズがみんなの手元に届いていないことが分かったので、これから、もっとたくさんの人に知ってもらうために、工夫をしています。

ワークショップ参加者が考える

子どもの権利を知らせるために、「もっとこうしたらいいな」ということ



学校で・・・

- ・学校にいろいろ配布したい
- ・学校にちらしで渡す
- ・ただの配布物としてしか見ていないので、教員に事前に口頭で軽い説明を促す
- ・学校で子どもの権利の授業をやる



ポスター・動画で・・・

- ・区外の学校に通っている人にも知らせるために、「商店街にポスターなどを配る」「家のポストの中に入れる」
- ・広い世代へ知らせる方法として「SNSなどで広める」「YouTubeとかの広告にだすと、若者はよく見る」「いろいろな世代へ動画を作る」



大人に向けて・・・

- ・教員向けの説明会を実施する

キャラクターと・・・

- ・キャラクターを作ってぬいぐるみにする
- ・いろいろなキャラクターとコラボ



杉並区の考え

学校で、子どもの権利を知らせる機会重要だと思いました。リーフレットなどのグッズを配るだけでなく、より深く知ってもらうための工夫をしています。

もっと多くの子どもや大人に子どもの権利を知らせるためには、知らせたい相手にあわせて、いろいろな知らせ方にチャレンジしていきます。

学校の先生に、子どもの権利を知ってもらうことはとても大切だと思います。これまで、先生や保護者に講義や研修を行ってきましたが、多くの先生に子どもの権利を理解してもらうためにこれからも続けていきます。

グッズやデザインは、「使いたい」「欲しい」と思ってもらえるものや、キャラクターを考えて作りたいと思います。